

日米ブラジル協議に関する共同声明

2020年11月10日、ブラジルのブラジリアにおいて開催された第1回日米伯協議において、米国政府、ブラジル政府及び日本政府により、以下の声明が発出された。

日本、米国及びブラジルの高級実務者は、日米伯協議（JUSBE）を立ち上げるために集った。自由、人権、民主主義及び法の支配という共通の価値に基づいた三か国の伝統的な絆を基礎とし、三か国は、各国が主権を有する独立国家として共存しつつ繁栄する、自由で開かれた国際秩序を希求する。

未曾有の新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、これまで以上に集共同及び協調の行動が必要とされることを念頭に、三か国は、この危機を克服し、「ポスト・コロナ」への新たな道筋を形成するために協働するコミットメントを全会一致で強く確認した。

当該協議を通じ、三か国の実務者は、地域情勢に係る政策調整の強化、共有される経済的繁栄の追求、及び民主的ガバナンスの強化という JUSBE の基礎となる3本柱を確認した。JUSBE は結果志向のパートナーシップであることに留意し、これらの三本柱の下で様々な具体的な成果について議論が行われた。

地域情勢に関する見解の共有

三か国は、地域の平和及び安定は経済的繁栄と民主的ガバナンスの基礎となるとの認識を共有した。この観点から、民主主義や基本的人権といった共通の価値を共有する国として、三か国は、JUSBE 及び既存の二国間対話を活用して、地域情勢に係る意見交換を行い、我々の地域が、ルールに基づく秩序の下で、自由で開かれたものであり続けることを確保するための取組を継続する。

共有された経済的繁栄

三か国は、それぞれの地域において、民主主義及び経済を主導する国家である。共通の価値を共有するパートナーとして、三か国は、ビジネス環境の強化、外国投資の拡大、地域間の連結性促進、持続可能な開発と経済成長への支援、及び開かれ、相互運用可能で信頼できる安全なインターネットに基づいた活力あるデジタル経済の促進に向けたサイバーセキュリティの強化に取り組む。

三か国は、安全で、信頼でき、活力あるコミュニケーション・ネットワーク・

エコシステムを確保し、自国の法律、優先政策及び国際的義務に沿って、自由で公正な競争、透明性、そして、法の支配といった基盤に基づく透明且つ安全な5Gネットワークの展開のための共通アプローチを発展させるとのコミットメントを確認した。

民主的ガバナンス

民主主義とグッド・ガバナンスは、経済的繁栄と成長、人間の尊厳の尊重、そして危機において最も脆弱な人々の保護を確保する上で必要不可欠な土台である。この観点から、三か国は、三か国の国内及び国際場裡において、自由で公平な選挙の確保や表現の自由等の基本的価値の保障を含む、民主的ガバナンスを強化する対話及び協力を強化する。

マルシア・ドネル・アブレウ・ブラジル外務省アジア大洋州ロシア担当副次官（大使）が本協議の議長を務めた。キース・クラック米務省経済成長・エネルギー・環境分野担当副次官が米国を代表し、林禎二日本国外務省中南米局長が日本を代表した。